

大館市教育委員会会議録

日 時 令和元年6月26日(水)
午後3時30分
場 所 大館市立 田代 公民館
第1・2研修室

大館市教育委員会

大館市教育委員会会議録

1	開会の日時 及び場所	日 時 場 所	令和元年 6月 26日 (水) 大館市立 田代 公民館	午後 3時 30分 第 1・2 研修室
2	出席委員の氏名			
	教育長職務代理者	山 田 和 人	委 員	根田 穂美子
	委 員	清 野 克 子	委 員	小笠原 正卓
3	欠席委員の氏名			
4	委員以外の 出席者職氏名	(なし)		
5	出席した職員の職氏名			
	教 育 長	高 橋 善 之	教育総務課長補佐	鈴 木 明
	教 育 次 長	本 多 恒 博	教育総務課長補佐	小 林 秀 樹
	教 育 監	山 本 多 鶴子	学校教育課長補佐	小松原 功 秀
	教育総務課長	成 田 浩 司	生涯学習課長補佐	金 谷 浩
	学校教育課長	坂 上 隆 義	中 央 公 民 館 長	山 口 和 博
	生涯学習課長	一 関 留美子	歴史文化課長補佐	大 井 和 博
	歴史文化課長	長 崎 美 幸	教育総務課総務係長	篠 村 朋 子
	スポーツ振興課長	松 田 新 一		
6	会議録署名委員 教育長・清野委員			
7	会 議 書 記 教育総務課 総務係長 篠村 朋子			
8	教育長報告			
	(1)	他県との交流事業等の予定について		
	(2)	大館市青少年問題協議会委員の任命について		
	(3)	大館市スポーツ推進審議会委員の委嘱について		
9	議 事			
10	その他			

議 事 の 経 過	
	開会 午後3時30分
教育長	ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については私と清野委員にお願いします。
教育長	会議録についていかがだったでしょうか。 （「異議なし」の声あり） それでは、承認とさせていただきます。 では、4の教育長の報告事項をお願いします。
各課長	（「他県との交流事業等の予定について」 「大館市青少年問題協議会委員の任命について」 「大館市スポーツ推進審議会委員の委嘱について」を、資料により報告）
教育長	質問、ご意見等はありませんか。 「他県との交流事業等の予定について」は主な事業を挙げていますが、その他の交流事業についても説明をお願いします。
教育監	今年度もたくさんの教育視察がありますが、教師の派遣依頼や講話の依頼が昨年度より増加しています。現時点で、これから行われるものを含むと30件の予定が入っています。大館の視察に来るのは大歓迎ですが、教師の派遣依頼が多くなってきていることから、教師への負担も考えなくてはならないため、どのようにしたらいいか、悩みも出てきています。いずれにしても、教師も一旦、大館市を離れ、他の市町村の教育に触れたり、発表した内容に対して直にいろいろな評価をいただくということが、さらに教員の自己研鑽になり、大館の教育の進化にもつながりますので、できるだけ要望には沿いたいと思います。
教育長	質問、ご意見等はありませんか。
委員	教師の派遣依頼が多くなってきているとのことですが、それにより、学校の教育の質を充実したものと維持できるのか、懸念されます。その点、どのようにお考えでしょうか。
教育監	なるべく多くの教師に視察や、派遣の機会を与えたいと考えています。大館市の先生方は、研究熱心で、日々の授業も精一杯やっています。教育委員会として先生方を「もっと頑張ってください」と励ますのは、これ以上は大変なことと思っています。しかし、先生方自身が、他の市の教育を見たときや自分の教育の評価をされたときに、内発的に「もっとこうしたい」とか「こ

	<p>こを直したい」という意欲が湧き上がり、さらに授業改善や教員の資質向上というところにつながると思います。特定の教師に負担が重ならないように配慮しながら、すべての先生方にそのような機会があればと考えています。</p>
委員	<p>先生方の負担が重ならないよう、配慮していただきありがとうございます。この機会に、教育委員会として負担が重ならないようなシステムを構築していただければと思います。</p>
教育長	<p>大館の場合、授業マイスターの先生方もいるので、そのような先生方にも派遣をお願いできると思います。</p>
委員	<p>大館の教育が注目され視察や教師の派遣が増えている現状を、大館市民にもっと広くお知らせ願いたい。先生方が感じる大館の子どもたちの具体的な感想や、大館の教育のすばらしいことをもっと発信していく必要があると思います。</p>
委員	<p>6月21日の地元紙に学校事務グループリーダーの研修会があったことが、紹介されていました。この研修会で、事例発表をした事務長が「地元紙に学校事務職が記事になることで、広く市民に伝わり大きな力になっている」ということが紹介されています。新聞記事になるのは学校や教師、子どもたちの記事が多い中、学校事務の記事が掲載されたことは、大変すばらしいことだと思います。それゆえ、大館の教育が注目されている現状も、もっと、市民に発信していくようお願いします。</p>
教育長	<p>事務職の先生方は、縁の下の力持ち的な存在としてがんばっています。この大館市の学校事務の共同実施は、全国的に見ても非常に進んだ形で、新聞に掲載され注目されたことは、事務職員の先生方のやりがいにもつながり、ありがたいことだと思います。</p>
委員	<p>先生方が他の地域で授業や指導をしてきたとき、市内の先生方に報告会のようなものはあるのでしょうか。</p>
教育監	<p>学校内での報告はあると思います。また、教育委員会にも口頭の報告はあります。しかし、市内の先生方に向けての報告会というものはありませんので、これから、実践発表会などの機会に報告ができるようにしていきたいと思います。</p>
委員	<p>子どもたちですが、お客さん慣れしてて、誰が来ても、何人来ても動じず、普段どおりに授業を受けています。普段の授業をするという先生方の姿勢が、子どもたちも感じ取っているのだと思います。</p>
教育長	<p>貴重な情報を、ありがとうございます。以前の授業は、子どもたちは「問</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>違ってはいけない」ということで、緊張もしたでしょうが、今は、「学び合い」の授業であるため、「間違ってもいい」「間違っても当たり前なんだ」というスタンスの違いは大きいと思います。今、進めている「共感的、協働的学び合い」の一つの成果だと感じました。</p> <p>他に質問等ございませんか。なければ、5「その他」入ります。</p> <p>(「来月の開催日程」について)</p>
<p>委員</p>	<p>ひとつ、よろしいでしょうか。</p> <p>先日、教育研究所から今年度の「学校教育指導の重点」の冊子をいただきました。その中で、社会教育委員の学校訪問の記載がありませんでしたので、来年度、施策の中に盛り込んだらよいのではないかと思います。近年、学校訪問をするとき、社会教育委員の方と一緒することが多くなりました。北教育事務所の所長訪問時でも社会教育委員の方が一緒していると伺っています。学校教育に深く関わってくださっている、とてもいいことだと思います。先月の教育委員会会議で、「教育委員会の点検・評価」の報告がありましたが、生涯学習課は、「ふるさとキャリア教育や学校や地域とのつながりの中に社会教育委員として関わり、市民版ふるさとキャリア教育の推進に向け、見える活動を展開していきたい。」と課題に挙げています。また、学校教育課も社会教育委員との関わりを持っていきたいと話していました。そうであるならば、大館市の教育の特徴でもあるので、「学校教育指導の重点」の中に「社会教育委員」を盛り込んだ施策を検討していただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>他の市町村の社会教育委員は、大館市と同じような活動をしているのでしょうか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>社会教育委員は県組織、全国組織とありますが、県の社会教育委員の会議で、今現在は、どちらかという弱体化しているということ、大館市社会教育委員委員長から報告を受けています。その中で、大館市は、教育委員の皆さんと、社会教育委員と一緒に学校訪問をされているということが素晴らしいということで、大変高い評価を受けています。大館市としては、この活動をこれからも維持していきたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>広く教育に対する理解を持ってもらうために、社会教育委員は大切な存在だと思います。これからも続けていってほしいと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>社会教育、生涯学習は、単体では活動が進めにくい状況もでてきていますが、学校教育と一緒に活動することで、活動の幅も広がり、町づくり、人づくり、未来づくりという大館の特色であるこの方向で、進めていきたいと思っています。</p>

委員	<p>先日、長木小学校の外国語活動の授業を拝見しました。昨年度「チャレンジ授業賞」を受賞されました成田優子先生の授業です。とても素晴らしい授業でした。5年生の先生は、東京で教職に就いていたのですが、秋田県の教員採用試験を受けて、秋田の教職に就いた方でした。東京都と秋田県の違いを聞いたのですが、全く違う授業のやり方だとのことでした。英語の指導案も大館はすでに出来上がっているのも、とても授業がやりやすいとのことでした。6年生の授業は中学2年生レベルの内容だと思いましたが、小学生でレベルの高い授業を受けられるのは非常に大きな財産になるのではないかと思います。</p> <p>また、長木小学校では「命を大切にしましょう」というテーマで各学年取組んでいます。生活科では、「ザリガニの家を作ろう」ということで、ザリガニを釣りに行く予定でしたが、熊が出たので中止になってしまいました。しかし、先生方はあきらめませんでした。バスで芝谷地へ行き、バスから子どもたちにザリガニを釣るのを見せてくれたのです。いろいろと工夫を下さって、子どもたちに素晴らしい体験をさせて下さいました。生活科という授業は、大変ありがたい授業だと思いました。</p> <p>各学校、いろんな特色をもって地域にある材料を使い、子どもたちの学びにつなげていただいているのだと、ありがたく思いました。</p>
委員	<p>関連して感想です。長木小学校に自宅で収穫したエゾタンポポの種をお届けしたくて伺ったとき、小笠原委員が外国語活動の授業参観をされたとお聞きしました。私も昨日、授業を拝見させていただきました。5年生は担任の先生が出張で、教頭先生が授業に入っていたのですが、成田優子先生がリーダーシップをとり授業をしていました。授業を拝見して、これが大館の特徴だと思ったのは、同一の指導案が教材・教具とともに各小学校に配布されているということです。1時間の流れがすべて書かれているので、各校でそれらを使用した授業が展開されているとのことでした。6年生の授業は最後に振り返りとして、感想を発表していましたが、時間で発表できなかった子どもたちは、授業が終わってから成田先生のところへ行って振り返りの表を見てもらっていました。成田先生に何うと、毎時間このようにしていますとのことです。一人の子どもも、発表しそびれたとか、「時間がないからこの次ね」と延ばされたなどということなく、先生と触れ合う授業が行われているということです。小学校の英語は充実しているだけに、中学校の英語の指導と、どのようにつなげていくかが課題だと思います。</p>
委員	<p>エゾタンポポのことです。10年ほど前にゼロダテの村山修二郎さんが始めたプロジェクトが今に続いていることは素晴らしいことです。</p>
教育長	<p>貴重なご意見、ご感想ありがとうございました。 以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。</p>
<p style="text-align: center;">会議終了時刻 午後4時15分</p>	